

令和3年10月4日発行

# ふる里からの 「ふるさとだより」 10月号

## 今年の指針 “緒”

HP検索：[デイサービスセンターふる里](#)

あかろく やわらかく やさしく  
社会福祉法人 啓明会  
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 亀橋町 1416番地  
TEL (0957) 27-4500  
FAX (0957) 27-4501



## “笑顔は幸せを呼ぶ”



私が生まれ育ったのは、佐世保市の東部に位置する“三川内(みかわち)”です。自然豊かで人情味あふれる地域です。ご存じの通り焼き物の産地で“透かし彫り”や“染付の唐子”といった、繊細で洗練された技巧で知られ、平戸藩の御用達の窯であります。私は、窯元の5人兄弟姉妹の三男坊で末っ子に生まれました。いい子・いい子と育てられ、立派に育ったのが私です？！

焼き物の材料である陶土で粘土遊びをしたり、焼き物のマキで遊んだりするのが日課でした。

先日、NHKの朝のニュースで高知県仁淀川の「水切り」の様子「第18回仁淀川国際水切り大会」が映し出されました。「水切り」は、石を川面に投げて水の上を跳ねさせる「スポーツ」です。

水の上をはねる時の音、水を切って進む石の姿が、懐かしくなりました。というのは、仁淀川の「水切り」は、河原の石を使って行うのですが、私のところは、“ハマ”を使っていました。焼き物の作品を窯で焼くときに使う道具の一つに“ハマ”というものがあります。“ハマ”とは陶磁器を焼くときに生地の下に敷く物で、焼くときの必需品です。朝鮮唐津を焼くときは貝殻などの上にのせて、宙に浮いた状態で焼くのですが、それでも釉薬(ゆうやく)が流れつき、跡処理が大変になるので“ハマ”が釉薬の流れを防いでくれます。焼き物を焼いた後の“ハマ”は、再利用が出来ないので道にばらまいていました。そこ中に広げられている“ハマ”の中から自分の手に合ったものをつかんで川で水面に投げて、だれが遠くまで行くかを競って遊んだものでした。そこは毎年夏に泳ぐ所で、子供たちが安全に泳げるようにと、夏休み前には町民総出で川掃除をしていました。川の水を落とすと“ハマ”が沢山沈んでいたのを思い出しました。それだけよく「水切り」をして遊んでいたんだなあ。また、道で転がした時によく転がるので速さと距離を競争していました。現在ならば、車が多くて出来ないようですが…。また、女の子にとっての“ハマ”は、お皿やお茶碗に見立てて“ままごと遊び”の道具になっていました。私は小さな子供の役の時代しか覚えていませんが、“ごっこ遊び”にはもってこいの道具でした。

10月10日の体育の日の頃に『三川内焼き陶器市』が開催されます。今年は、コロナで中止と聞いてガッカリです。皆さんに陶器市にお越しいただいて“ハマ”で遊んで欲しかったです。例年5月のゴールデンウィークの時期に三川内町で『はまぜんまつり』が開催されます。来年の事ですからどうなるのかわかりませんが…それよりも今年の秋にでも、三川内に紅葉狩りで行ってみたいはいかがでしょうか？“ハマ”を実際に見て“ハマ”に触れてみてください。センター長 森 隆敏



# 9月行事



9月行事は、1年に1度の利用者の方々への感謝の気持ちを込めた「ふる里敬老感謝週間」と題し21日、22日、23日の3日間開催しました。催し物は、3日間とも“音楽”に共通したグループの方々をお招きしての演奏を楽しんで頂きました。1日目は『ヒロバンド様』。アロハシャツを着てエレキギターなどの楽器を演奏しながら歌や曲の披露をしてくださいました。利用者さんの息子さんがリーダーで、飛び入りの親子共演もあり、また、時折交える面白トークで会場を沸かせて下さいました。2日目は『大村マンドリンアンサンブル まつぼくり様』。マンドリンという楽器は、普段馴染みがないのでマンドリンの事や演奏する曲の紹介等私たちに分かりやすく説明し演奏して下さいました。いろいろな種類のマンドリンがありどれもステキな音色でした。3日目は『ふえうた舎様』。篠笛という楽器で、まさに笛で歌うように演奏して下さいました。曲も唱歌から演歌まで幅広いジャンルで、心地の良い音色で心に響くものがありました。利用者の方々には心から楽しんでいるようで、手拍子をしたり、曲を口ずさんだりなどとても明るい表情をしていて、とても盛り上がっていました。“音楽”を通して文字通り「音を楽しむ」ことによって利用者の方々へ感謝の気持ちを伝えることが出来た行事となりました。




1日目『ヒロバンド様』



2日目『大村マンドリンアンサンブル まつぼくり様』



3日目『ふえうた舎様』



今年も毎年恒例の、隆明会の職員全員でプレゼント(「ふくろうお守りキーホルダー」)を手作りしました。隆明会の職員に神主がいたため、松原八幡神社で御魂入れをして貰いました。皆さんがバッグに付けて下さり、作った甲斐があったなあ実感することが出来ました。また、ふるりのシンボルである「ふくろう」の描かれた“箸袋”も作り昼食に添えました。「とても可愛い。」と好評で、記念にと皆さん持ち帰られていました。昨今のコロナ状況下で難しい中ではありますが、無事に開催出来て本当によかったです。去年から外部の方をこれまでお呼びできなかった為、利用者の方々も久しぶりに観賞して楽しんでもらったのではないかなと思います。

行事担当 三重亜津沙、坂上希代美

# 高齢者自立支援センター ふる里

【高齢者自立支援センターふる里】とは…

介護認定を受けておられない方(総合事業対象者)と要支援1及び2の方を対象とした新事業の高齢者活動支援サービス事業(A型)を平成29年4月から始めました。名称は「高齢者自立支援センターふる里」といいます。

生涯、健康で安全・安心な自立した生活が送れるように支援していくことを目的とし、専門的な職員(自立支援プランナー)がサポートいたします。ご興味のある方は、いつでもどうぞ。ご連絡をお待ちしております。

## 行事食紹介♪



ちらし寿司  
お刺身  
穴子寿司

## 十月の行事予定

◆ふる里 10月行事 『ふる里ミニミニ運動会』  
10月19日(火)・20日(水)・21日(木)

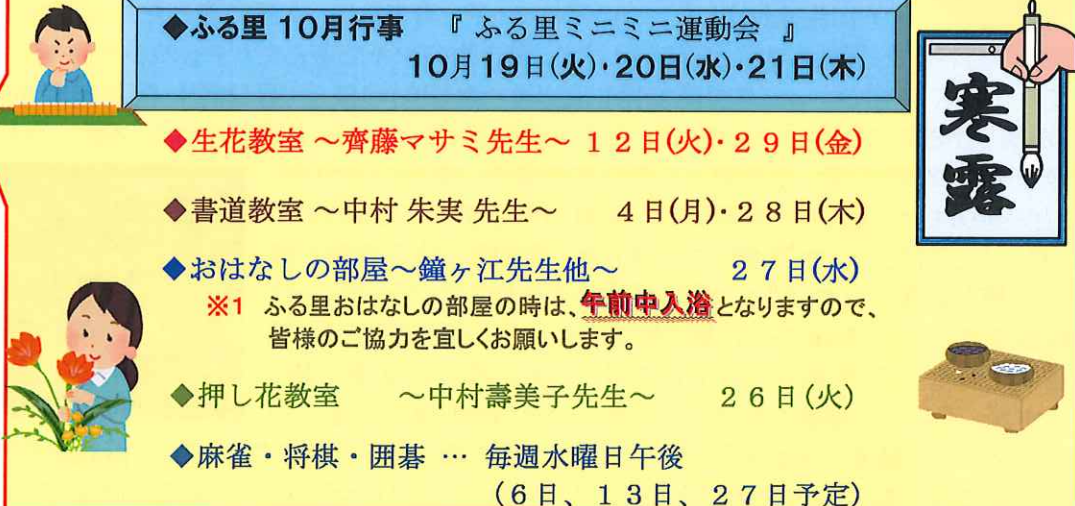
◆生花教室 ~齊藤マサミ先生~ 12日(火)・29日(金)

◆書道教室 ~中村 朱実 先生~ 4日(月)・28日(木)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 27日(水)  
※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 26日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後(6日、13日、27日予定)



## 訪問ボランティア

地域ボランティアの方々による本の読み聞かせの訪問が毎月あり、今月は9月18日(土)でした。利用者の方々もどんなお話が聞けるか毎回楽しみにされています。絵本をゆっくり楽しめる機会があり本当幸いです。「おじさんのかさ」を職員の1人が息子に買ってあげたなんて話も出て盛り上がりました。今月も有難うございました。



今月の作品

書道教室

おし花教室

生け花教室




9月24日(土)、今年度2回目となる避難訓練を行いました。今回は『地震による火災避難』を想定した訓練。非常ベルが鳴ると顔が変わり真剣に避難されていました。利用者の方だけでなく職員も再度注意すべき事を確認でき、より良いものとなりました。

編集後記 三岳由弥